

**ロシア・東欧学会**  
**2023 年度研究大会 プログラム**  
**2023 年 11 月 4 日(土)、5 日(日)、対面開催**  
**於 京都大学吉田キャンパス文学部校舎**  
**主催:ロシア・東欧学会**

※報告タイトル、会場教室には調整が入る場合もあります。会場はいずれも文学部校舎 2 階です。

**1 日目:11 月 4 日(土)**

**10:00 開場**

**10:30~12:30 自由論題分科会1・2**

**分科会1(文学): 第4講義室**

司会:望月哲男(北海道大学)

報告1:上村正之(北海道大学・院)「ベリンスキーのウクライナ観とゴーゴリ、シェフチェンコ評価の関係」  
討論者:乗松亨平(東京大学)

報告2:杉野ゆり(京都大学・院)「1829年のプーシキンのコーカサス旅行に関する作品について——『青銅の騎士』研究の視点から」  
討論者:安達大輔(北海道大学)

報告3:田村太(京都大学・院)「テロルの機構——ストルイピン期の政治暴力の変容とロープシン『蒼ざめた馬』」  
討論者:下里俊行(上越教育大学)

**分科会2(Economy and Society of Russia in a Modern Era): 第3講義室**

Chair: Norio Horie (University of Toyama)

Report 1: Tamara Litvinenko (Institute of Geography, RAS Moscow/ Doshisha University, Kyoto)  
“Population Dynamics and Its Factors: Ethnicity and Regional Characteristics in the Sakha Republic (Yakutia)”

Report 2: Irina Korgun (Institute of Economics, RAS Moscow/ Hankuk University of Foreign Studies, Seoul, South Korea) “E-commerce in Russia”

Report 3: Kazuhiro Kumo (Hitotsubashi University) “Fertility in Russia: A Re-examination Using Microdata”  
Discussant: Varvara Mukhina (Sophia University, Tokyo)

**12:30~14:00 休憩**

**14:00~16:30 共通論題「スラブ・ユーラシアの環境を考える」(1): 第3講義室**

司会: 古宮路子(東京大学)

報告1: 井上岳彦(北海道大学)「環境変動下におけるカルムイク文化生態史」

報告2: 中村唯史(京都大学)「くロシア的自然観」の成立とその影響」

報告3: 小椋彩(北海道大学)「ポーランド小説と都市のエコロジー」

討論者: 越野剛(慶應義塾大学)

**16:40~17:40 総会: 第3講義室**

**18:00~20:00 懇親会 レストラン・ラトゥール(京都大学時計台記念館内)**

**2日目: 11月5日(日)**

**9:00 開場**

**9:30~12:00 共通論題「スラブ・ユーラシアの環境を考える」(2): 第3講義室**

司会: 田畑伸一郎(北海道大学)

報告1: 大石侑香(神戸大学)「西シベリア・ハンティの生業形態と社会構造」

報告2: 地田徹朗(名古屋外国語大学)「アラル海地域研究の視角: スケール、レジリエンス、コンヴィヴィアリティ」

報告3: 山脇大(野村アセットマネジメント/北海道大学)「ロシアにおける環境投資と情報開示に関する一考察」

討論者: 徳永昌弘(関西大学)

**12:00~13:00 休憩**

**13:00~15:00 自由論題分科会3・4・5**

**分科会3(東欧の歴史): 第7講義室**

司会: 吉岡潤(津田塾大学)

報告1: 新井陽大(早稲田大学)「19世紀末ガリツィア東部におけるポーランド同化ユダヤ人の自己認識」  
討論者: 野村真理(金沢大学)

報告2: 小森宏美(早稲田大学)「ペレストロイカ期エストニアにおける民族/国家象徴をめぐる議論」  
討論者: 林忠行(京都女子大学)

報告3: 宇野真佑子(東京大学・院)「1990年代前半のクロアチアにおけるセルビア人の第二次世界大戦の記憶をめぐる政治」  
討論者: 菅原祥(京都産業大学)

**分科会4(ロシア・ウクライナ危機は北極域にどのような変化をもたらしているか?): 第4講義室**

司会: 道上真有(新潟大学)

報告1: 大西富士夫(北海道大学)「加速する観測の海から地政学の海への移行: ロシア・ウクライナ戦争の北極国際政治への影響」

報告2: 田畑伸一郎(北海道大学)「ロシアの北極域経済開発に対するウクライナ侵攻の影響」

報告3: 徳永昌弘(関西大学)「増幅する北極資源開発パラドクス: Arctic LNG 2 プロジェクトを中心に」  
討論者: 安達祐子(上智大学)

#### **分科会5(日本と旧ソ連): 第3講義室**

司会: 松本かおり(神戸国際大学)

報告1: メスロピャン メリネ(東北大学)「20世紀初頭の日本とアルメニア難民」

討論者: 堀江典生(富山大学)

報告2: 岩倉洸(龍谷大学)「アゼルバイジャンの多文化主義的ソフト・パワーと日本——多文化主義プロジェクトの事例から」

討論者: 宇山智彦(北海道大学)

報告3: ルキアンセワ ポリナ(京都大学・院) “Cultural Dynamics and Domestic Abuse in International Households: A Comprehensive Study on Emotional, Coercive, and Economic Abuse in International Households in Japan”

討論者: 河本和子(一橋大学)

#### **15:15~17:15 自由論題分科会6・7**

#### **分科会6(ウクライナとともに再編される宗教と政治): 第3講義室**

司会: 小森宏美(早稲田大学)

報告1: 神原ゆうこ(北九州市立大学)「ギリシア・カトリックがつなぐウクライナとスロヴァキア: 支援と信仰をてがかりに」

報告2: 高橋沙奈美(九州大学)「ウクライナ避難民と正教会: 牧会と社会支援を軸に」

報告3: 井上まどか(清泉女子大学)「従軍チャプレンの制度化をめぐって: 2000年代以降のロシア連邦を中心に」

討論者: 塩川伸明(東京大学)

松里公孝(東京大学)

#### **分科会7(ロシア政治・経済): 第4講義室**

司会: 黒岩幸子(京都外国語大学)

報告1: 鄭米芝(ジョン ミジ)(北海道大学・院) “Generations of Russia and Support for Putin: who is leaving his nest?”

討論者: 大串敦(慶應義塾大学)

報告2: 飯田次郎(鳥取大学)「ロシアによる対外援助」

討論者: 金野雄五(北星学園大学)

報告3: 齊藤久美子(和歌山大学)「ロシア・旧ソ連諸国における会計基準の国際化とナショナリズム」

討論者: 藤原克美(大阪大学)

#### **17:30 閉会**

### 報告要旨・要旨集と報告ペーパーのウェブ掲載

報告要旨・要旨集および報告ペーパーは、大会ウェブサイト <https://kytjarees.com> 上部の「発表要旨・資料」にて随時掲示します。会員の方は、要旨・ペーパーダウンロード用のパスワードを、郵送されたプログラムでご確認ください。

報告要旨集および報告ペーパー自体は郵送しませんので、事前にダウンロードしてご利用ください。

### 2023 年度研究大会企画委員会

企画委員長：田畑伸一郎（北海道大学）

企画委員：越野剛（慶應義塾大学）、小森宏美（早稲田大学）、徳永昌弘（関西大学）、中村唯史（京都大学）

## ＜研究大会に関するご案内＞

1. 大会ウェブサイト(<https://kytjarees.com>)を開設しています。参加登録、その他の連絡事項等はこちらをご覧ください。
2. 研究大会参加の手順
  - ①研究大会は対面で開催されます。
  - ②**参加申し込み**は、大会ウェブサイト(<https://kytjarees.com>)の上部にある「参加登録フォーム」をクリックし、その指示に従って記入し、送信ボタンをクリックすることで、おこなってください。対面参加者数に制限はございません。
  - ③**懇親会の参加**については、準備の関係上、原則として事前登録制とします。やはり大会ウェブサイト(<https://kytjarees.com>)の上部にある「参加登録フォーム」をクリックし、その指示に従って記入し、送信ボタンをクリックすることで、おこなってください。
  - ④**申し込みの締切は10月21日(土)です**。この日までに、必ず記入し、送信してください。

懇親会費は当日、受付にて**現金**でお支払いいただきます。**一般会員は6,000円、大学院生は4,000円を、できるだけおつりが出ないようにご準備ください。**

3. 当日の注意事項
  - ①会場に着きましたら、まず最初に2階ロビーの受付でお手続きをしてください。会場では名札の着用をお願いいたします。
  - ②大学構内の学生食堂、生協購買部は土日閉店ですのでご注意ください。大学周辺の飲食店、コンビニ等をご利用ください(百万遍交差点周辺に比較的多くあります)。
  - ③会場内・屋外で飲食は可能ですが、誠に恐縮ながら、お弁当がらや空いた飲み物の容器などは、できるだけ各自でお持ち帰りくださいますよう、ご理解ご協力をお願いいたします。
  - ④大学構内は全面禁煙です。ただし、会場の東向かいの建物(文学部東館)の中庭に喫煙場が設けられています。喫煙者の方はマナーを守って喫煙をお願いいたします。

#### 4. 京都大学吉田キャンパスへのご案内

- 京都大学周辺には宿泊施設がほとんどありません。京都市内あるいは近隣地域(宇治市、大津市、高槻市、吹田市、大阪市ほか)の宿泊施設をご利用になり、バス、電車等で会場までご移動ください。観光シーズンと重なっていますので、宿の確保は困難が予想されます。早めにご予約ください。
- 京都大学吉田キャンパスへの交通手段  
詳しくは次ページの表をご参照ください。

市バスと地下鉄の路線と時刻表は、下記のサイト(京都市交通局)をご参照ください。  
(<https://www.city.kyoto.lg.jp/kotsu/index.html>)

JR、私鉄の時刻表については、各社のサイトでご確認ください。

<京都大学吉田キャンパスまでの交通手段>

主要鉄道駅	交通機関等	乗車バス停	市バス系統など	市バス経路	本学までの所要時間	下車バス停
JRまたは近鉄 京都駅から	バス	京都駅前 又は 八条口	206 系統	「北大路バスターミナル」行	約 35 分	京大正門前 又は 百万遍
			17 系統	「銀閣寺・錦林車庫」行	約 35 分	百万遍
			京大快速	「四条烏丸・京大病院・出町柳駅」循環	約 35 分	京大正門前
			hoop(フープ)	「四条河原町・京大病院・京都大学前」循環	約 40 分	京都大学前
阪急 河原町駅から	市バス	四条河原町	201 系統	「祇園・百万遍」行	約 20 分	京大正門前 又は 百万遍
			31 系統	「高野・岩倉」行	約 20 分	京大正門前 又は 百万遍
			17 系統	「銀閣寺・錦林車庫」行	約 20 分	百万遍
			3 系統	「北白川仕伏町(上終町京都造形芸大前)」行	約 20 分	百万遍
地下鉄 烏丸線 今出川駅から	市バス	烏丸今出川	203 系統	「銀閣寺道・錦林車庫」行	約 10 分	百万遍
			102 系統	「急行 出町柳駅・銀閣寺」行	約 10 分	百万遍
			201 系統	「百万遍・祇園」行	約 10 分	百万遍 又は 京大正門前
地下鉄 東西線 東山駅から	市バス	東山三条	206 系統	「北大路バスターミナル」行	約 15 分	京大正門前 又は 百万遍
			201 系統	「百万遍・千本今出川」行	約 15 分	京大正門前 又は 百万遍
			31 系統	「高野・岩倉」行	約 15 分	京大正門前 又は 百万遍
京阪 出町柳駅から	徒歩	(東へ)			約 15 分	
	市バス	出町柳駅前	201 系統	「祇園・みぶ」行	約 5 分	百万遍 又は 京大正門前
			203 系統	「銀閣寺道・錦林車庫」行	約 5 分	百万遍
			102 系統	「急行 出町柳駅・銀閣寺」行	約 5 分	百万遍
			17 系統	「銀閣寺・錦林車庫」行	約 5 分	百万遍

タクシーをご利用の方は、  
京都駅から京都大学正門まで約 20～30 分、片道約 2,000 円程度  
河原町四条から京都大学正門まで約 15～20 分、片道約 1,200 円程度  
※その時々交通事情によって大きく変わります。

京都大学からタクシー利用の際の電話番号

MK タクシー075-778-4141 都タクシー075-661-6611 ヤサカタクシー075-842-1212 など

- 京都大学吉田キャンパス

#### 吉田キャンパス



※研究会・総会の会場は「文学部校舎」内にあります。北側(図の上側)の入口から入り、階段かエレベーターで2階にお上がりください。

※懇親会の会場は「百周年時計台記念館」内にあります。

- 京都市観光案内

<https://ja.kyoto.travel/>

## **2023 年度研究大会・大会組織委員会**

大会組織委員長：中村唯史(京都大学)

大会組織委員：伊藤順二(京都大学)、大平陽一(天理大学)、小山哲(京都大学)、菅原祥(京都産業大学)、道上真有(新潟大学)、山路明日太(中京大学)

## **大会組織委員会**

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学大学院文学研究科

中村唯史研究室

TEL:075-753-2781

メール:nakamura.tadashi.6r@kyoto-u.ac.jp